



その後のオリーブの森創生事業

地域資源を活用した、地域の活性化を主目的として始めた「オリーブの森創生」事業のその後につき報告します。目的は耕作放棄地を再生し、オリーブを栽培し、六次化を達成することにより、地域の資源を活用し、地域の活性化の達成と、「小野湖の水を守る会」の魅力を高め、会の持続性を可能にしようとするものであります。

現在は、主として一次化（耕作放棄地の再生、オリーブ植え付け、オリーブの実収穫）部分に取り組んでいます。



現在、約1.2ヘクタールの耕作放棄地を再生し、300本のオリーブを植えました。他方、オリーブ苗の自給を図るため、約450本の1~3年生の苗を育てています合計約750本のオリーブの栽培に取り組んでいます。

これまでの取り組みから

- ① 小野地域でもオリーブの栽培が可能であること。
- ② 5年生になれば花が十分に咲くこと

以上2点を確認することが出来ました。

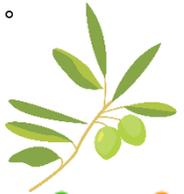


当面の栽培の課題は、受粉率を高め、結実、収量を高めることです。そのため最適オリーブの種類の特定と、受粉のための組み合わせを検討しています。二次、三次（加工、パッケージ、マーケティング）には、まだ手が付いていませんが、生産量確保にめどが付いたら二次、三次に全力で取り組みたいと考えています。

また、組織の課題としては①組織の法人化、②六次化のための専門知識を有する組織の調査等です。

「オリーブの森」創生事業に興味を持ち、一緒に取り組んでみたいと考えられる方は、ご連絡ください。

津島 榮



第3回 環境サロン

課題：「環境 DNA の利用と河川分野における自然共生の動向について」

話題提供者：赤松良久先生

(山口大学大学院創成科学研究科建設環境系専攻)

日時：2019年10月1日(火)18:00~20:00

場所：まちなか環境学習館(銀天エコプラザ)

参加費：200円(資料代)、高校生以下無料

河川生態環境の分野で活発な研究をされている赤松先生に、最近注目されている環境DNAの解説と、併せて河川分野における自然共生の動向について紹介いただきます。

環境サロンは、身近な環境などの問題について、気軽に学び合い、語り合える場です。ご興味のある方は、どなたでもご参加頂くことができます。申込みは不要です。是非、お気軽に会場にお越しください！

【宇部市まちなか環境学習館 TEL0836-39-8110】

出張おそうじ隊

9月15日(日)9:00~

事前
申込

場所/床波黒崎海岸(道具は不要)

詳細はお申し込み時にご案内します。

ゴミを拾い集め、分別して計量します。

9月11日(水)迄にお申し込みください。



学習館ご利用のみなさんはじめ

どなたでもご参加いただけます!



□問い合わせ・申し込みまちなか環境学習館 TEL0836-39-8110

まちなかおそうじ隊

9月29日(日)15:00~

学習館前に集合(道具は不要)

まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードのゴミを拾い集めます。

申込
不要

宇部市環境学習ポータルサイト

「うべっくる」



うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com/kuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

Facebook や Twitter へも、こちらからアクセスできます。

環境活動団体紹介コーナー

宇部市学びの森くすのき

宇部市学びの森くすのきは、図書館・博物館・学習機能を有する施設で、市民の学習・文化・創造活動の拠点施設として、平成25年5月にオープンしました。伝統工芸品赤間硯の原石を再利用した瓦屋根とセメント瓦屋根、正方形の窓がある白壁とコンクリートの打ち放しの壁など、形状や仕上げ材料で「旧宇部市」と「旧楠町」との調和をテーマに、船木地区の歴史や文化景観にも配慮した外観になっています。

館内は、約4万冊を蔵書する図書館と、古代から近現代までを各テーマに沿って展示し、宇部市の歩みが一望できる博物館、そして学習部門となるセンターサークルから構成されています。図書館は近隣の北部地域の方々を中心に、数多くの方が図書の利用やイベント参加のために利用されています。近年は読書活動につなげるためのイベントや展示企画を積極的に行っており、親子連れや小学生の子どもたちの利用が増えています。



学びの森くすのき外観

博物館は宇部市の歴史を学習できる常設展示とともに、当館学芸員による企画展示を開催しており、専門的な歴史分野だけでなく、人々の暮らしに密着した企画を考案・実施しています。

宇部市内の中心にある宇部市立図書館は、中心市街地の方々によって日々混雑していますが、学びの森くすのきは郊外にある施設としての特色を活かし、開放的で快適な空間を提供する事により、利用者の方がリラックスして当館を利用して下さるよう努めています。

学びの森くすのき 宇部市大字船木字内番田361番地6
TEL 0836-67-1277

うべ環境コミュニティー会員



コラム

初体験！「助成金申請とプレゼンテーション」から得たもの



「ESD うべ推進協議会」は、本年度の「宇部市の地域創生事業助成金」に申請しました。地域団体と連携して「共創のまちづくり推進事業」という区分です。

『常盤校区における ESD 推進プログラムの展開』という実施計画書を作られ、プレゼンテーションをされたのは、ESD うべ推進協議会事務局長の加藤泰生先生です。私は、地域団体とのコーディネーターが主な役割です。プレゼン時のアシスタントもさせていただきました。

▶ 常盤校区の子供たち、一人一人が、自然界の生き物に触れることで

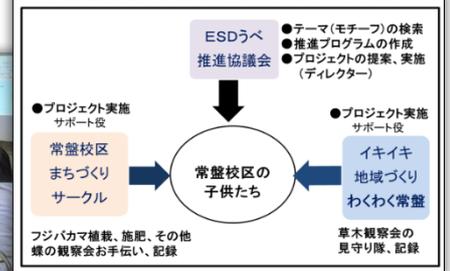
①命の神秘に感動でき、②思慮深い、③心身ともに健全な子供たちに育つ これら3つの願いを込めて、この ESD 推進のために考案されたプログラムです。

常盤校区の団体と連携できたのは、私が、出前授業で小学校に昨年と今年「アサギマダラの紙芝居」を上演していることをご存知だったからです。私はこの貴重な体験をもって全力でプログラムに取組みたいと思いました。そして、うべ環境コミュニティー浮田理事長の言葉は勇気を与えていただけのものです。エコプラザ通信の昨年4月号に掲載された記事を引用させていただきます。

プレゼンテーションの様子



組織と役割 (実施場所の提供: 常盤小学校、常盤公園)



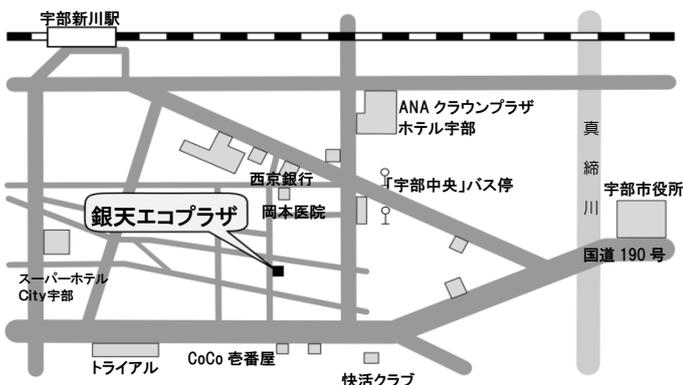
「持続可能な発展」は今や世界中のどこでも聞かれる「合い言葉」になっていますが、人口過剰増殖と贅沢な生活による資源の浪費等、人類がこれまで経験したことのない「難題」の解決は言うほど簡単なことではありません。グローバル500賞の対象になり、世界から学びにきていただいている「宇部方式」を、人類共通の課題に挑戦するという形で、もう一度世界に発信するチャンスです。

宇部の成功例が県のモデル、日本のモデル、世界のモデルになるように、市民の皆様方のご協力が得られればありがたいと思います。

ESD うべ推進協議会: 「宇部方式」の伝統を活かして「持続可能な発展の為の教育(Education for Sustainable Development)」に係る地域教育力を充実させ、「生きる力」を持った将来世代を育成すること、を目的として2018年4月に設立されました。

参画団体: 21団体(7月14日現在)

うべ環境コミュニティー 理事 山根好子



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線: 「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス: 「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時~21時 HPアドレス: <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)